

福留開発株式会社

会社概要

社名	福留開発株式会社
本社	〒780-0816 高知県高知市南宝永町19番11号 TEL:088-883-7251 FAX:088-883-7295
代表取締役	大場 将史
創業	1951年(昭和26年)10月
設立	1958年(昭和33年)5月
資本金	4,000万円
事業内容	●土木建設業 トンネル、河川、造成、道路改良、維持補修 (橋・トンネル)、橋梁(上部・下部)、上下水道 ●太陽光発電事業
許可	高知県知事許可
許可業種	土木工事業／とび・土工工事業／しゅんせつ工事業／水道施設工事業／造園工事業／舗装工事業／鋼構造物工事業／石工事業／塗装工事業／管工事業／解体工事業
認証登録	ISO9001(品質)、ISO14001(環境)
取引銀行	徳島銀行、四国銀行、高知銀行
グループ企業	シグマ技研(株) (株)西日本科学技術研究所
加盟団体	一般社団法人 高知県建設業協会／一般社団法人 全日本漁港建設協会高知支部／一般社団法人 高知県港湾空港建設協会／一般社団法人 コンクリートメンテナンス協会／一般社団法人 弾性波診断技術協会／一般社団法人 日本建設保全協会／日本リバコン協会／YDN

会社案内

未来を変える、
変わらない想い。



Since 1951

 福留開発株式会社

皆様に支えられ、 おかげさまで創業70周年



代表取締役
大場 将史

福留開発は1951年の創業以来、地域の社会資本整備や防災事業および災害復旧事業を手掛けてまいりました。地域の皆様に支えられ2021年には70周年を迎えます。

福留福太郎が創業した戦後間もない頃より日本社会は戦後復興・高度経済成長を遂げ、現代においてはコンピューターの発達や生活環境の充実によって、より早く、安心・安全で快適な生活が求められています。そのような状況のなか当社は常に時代の流れに対応し、これまで「生産性の向上」や「新技術の導入」、「建設現場の労働環境の改善・向上」や「充実した社内組織の改革」といった課題に積極的に取り組んでまいりました。伝統を重んじ、今の時代にマッチしたスタイルを創造し、後世に継承していく。社会基盤整備という“ものづくり”のステージで、当社に蓄積された豊富な経験と確かな技術で全社員一丸となって地域社会の明るい未来を切り拓いてまいります。

そして、道路・橋・水道・トンネルといったインフラの建設を通じて発注者の皆様に当社にしかできない付加価値を提供し、これまでそしてこれからも人々の豊かな暮らしの創造に携わることで社会に貢献してまいります。

経営理念

顧客満足を第一に事業の完成を目指し、
技術と組織の向上と環境への理解に努め、
全ての協力者との相互繁栄を図るとともに、
社業の発展と社員の幸せの一致を実現する
ことによって地域社会に貢献する。

行動指針

- 1. 向上意欲**
現状に満足することなく常に社員一人一人が自己研鑽に努める。
- 2. 積極的精神**
何事に対しても失敗を恐れず挑戦し、当事者意識をもって能動的に活動する。
- 3. 協心努力**
業務遂行に関わる全ての仲間との信頼関係を築き、互いにサポートし合う。

福留開発の進化するものづくり

日々の暮らしに欠かせないインフラ整備が私たちの仕事です。

道路

トンネル

橋

河川

防潮堤

水道

建物

高知の暮らしを支えてきた70年の歴史

時代に沿ったその時々により最適な技術を活かし、進化しています。

1973年



横浪スカイライン

土佐市から須崎市を結ぶ横浪半島を縦断する道路改良工事。

1975年



宇治川排水機場

当社が初めて手掛けた国直轄工事。

1979年



春野運動公園

現在の公園内運動広場A付近のグラウンド造成工事、他多数。

1979年



鏡川大橋

鏡川に架かる橋梁では最長337mアーチ橋の橋脚工事。

1990年



九重小学校

高知県内で初めて補強土壁の施工となったグラウンド造成工事。

2018年



高知海岸

南海トラフ地震による津波に備え海岸堤防の補強工事。

最先端の技術を求めて

- 測 量 自社UAV(無人航空機)による3次元起工測量
- 設計・施工計画 3次元設計データ作成
- 施 工 ICT建機による施工



福留開発
完全内製化

女性が活躍できる現場に

育児休暇1年取得、保育園のお迎えのための17時退社など、社員全員で育児中の女性技術者をサポートしています。



地域社会の
基盤づくり

土木建設

土木事業は地域と人々の生命や財産を守る大切な事業です。

トンネル、河川の改修、道路改良・維持補修、橋梁工事、上下水道工事など、安心・安全で

暮らしやすい地域社会の実現のため、新しい技術や知見を積み重ね、地域貢献に寄与していきます。



監理営業部

営業情報の収集から自社の技術者の監理、および計画的な受注を実現するために工事受注に向けて様々な戦略を練る。また、入札・契約関係の実務も行う。



土木統括部

道路やトンネルや橋といったインフラ整備や山地・港湾・河川等の災害復旧、さらに近年では構造物の老朽化に伴う維持・補修業務を手掛ける技術者集団。



安全推進部

すべての現場作業所・事業所での無事故無災害を達成すべく、各署の安全を統括する。それは日々の安全教育・啓蒙に留まらず、時として厳しい安全指導を行う。



工事管理部

現場作業所の原価管理や協力業者との契約・支払い業務を行う。その他にも工事が円滑に進むよう雑多な庶務業務も引き受け、現場作業所をサポートする。



施工実績

■ 河川工事



平成25年度 野市堤防工事

■ 橋梁工事



平成29年度 波川高架橋下部第1工事

■ 海岸工事



平成28年度 戸原海岸堤防改良工事

■ 道路改良工事



平成26年度 是友地区外改良工事

■ トンネル工事



国道494号防災・安全交付金工事

■ その他



陸上競技場トラック改良工事



平成29年度 用石堤防漏水対策工事



平成29-30年度 五台山第4高架橋下部工事



平成30年度 十市海岸堤防改良外工事



平成30年度 鎌田改良第3工事

■ 砂防・地すべり対策工事



寺内災害関連緊急地すべり防止工事



高知港改修(統合補助)工事

太陽光発電事業

環境保護に対する取り組みとして、2013年より太陽光発電事業を開始しました。現在、高知市土佐山(当社単独)と幡多郡黒潮町(高知県・黒潮町と共同出資)の2箇所で稼働しています。



黒潮町地域還流太陽光発電事業

志高き者が
目指すもの

プロフェッショナル

現場で働くプロたち。

一人一人がそれぞれ様々な
志や想いを持って働いています。



CSR活動

ロードボランティアや清掃活動など積極的に取り組んでいます。

ISO取得

品質マネジメントシステム (ISO 9001) や環境マネジメントシステム (ISO14001) に基づき、組織の指揮・管理することで、優れた品質の土木構造物提供を通じて顧客の信頼と満足の向上に努めています。

BCP (事業継続計画)

四国建設業BCP等審査会認定における「事業継続計画 (BCP)」を策定しており、平常時より万が一の災害時に備えた対策と、とるべき手段・方法を計画し、その適宜見直しを行っております。

南海トラフ地震対策 優良取組事業所認定

高知県内の事業所を対象に県が独自に認定する「南海トラフ地震対策優良取組事業所認定」を受けております。南海トラフ地震対策に取り組む事業所として、他の事業所に対し模範となり地域の防災力の向上に寄与します。

健康事業所宣言

全国土木建築国民健康保険組合と協働 (コラボ) し、「健康経営®」に取り組む事業所として「ヘルスアップチャレンジ」に参加するとともに、社員が心身ともに元気に働ける事業所を目指し、健康づくり・健康増進に積極的に取り組むことを宣言します。

社会貢献

- ・ロードボランティア (道路の清掃美化活動)
- ・現場見学会
- ・河川、海岸清掃活動



社内行事

社員と、その家族みんなで楽しむイベント。

バーベキュー



バーベキューやお花見はご家族もお呼びして交流をはかっています!

お花見



初詣



労働災害防止 安全大会



ICT時代にも対応 できる環境づくりを



土木統括部
竹田 一久

入社日 1992年4月
出身校 高知工業高等学校
土木科
資格 1級土木施工管理技士

Q.仕事のやりがいを感じる時

自分のやり方や計画で現場が進み、構造物が出来上がった時はとても達成感を得ることができます。その土地の交通の利便性向上や、半永久的に残っていく構造物は自分の誇りとなりますし、地元の方々に感謝されることも多く、その時は喜びも一入です。

Q.これから挑戦したいこと

自分が経験し学んできた糧を、後輩社員に伝えていくことです。ICT時代の波が刻々と押し寄せてきている今、若い世代の方々が最先端の技術を使いながら現場で工事を進めていく上でのサポート・アドバイスに徹し、もっと働きやすい環境づくりに挑戦していきたいと考えています。

Q.福留開発のココがいい

社長をはじめ、みんなの人柄がいいところです。One for all, All for oneの精神で全員が業務に一生懸命に取り組んでいます。

プライベートも
充実!

車が大好きで、自分でカスタムしたり、車体を磨いて休日を過ごしています。



女性が活躍する場の 先駆けとして



土木統括部
岸田 菜奈

入社日 2018年4月
出身校 高知工業高等専門学校
環境都市デザイン工学科

Q.仕事のやりがいを感じる時は?

やはり自分が携わった工事が完成した際にはやりがいを感じました。初めて携わった高須高架橋での下部工事では、自分が携わった基礎部分が埋まって見えなくなってしまうものの、きっとこの先何十年も携わったことを誇りに思えるのは感慨深いです。

Q.目指す自分の将来像

土木建設現場にはまだ女性の技術者が少ない現状ですが、今後の女性技術者の参入や、土木建設現場で女性が活躍できる場所となるように、先駆者として発信していけるようになりたいです。

Q.福留開発のココがいい

自分がこれまで過ごした地で、インフラの整備に携われたことは、とても誇りに感じますし、就職してよかったと感じる瞬間でもあります。また、春に行われるお花見等のみんなで和気あいあいと過ごすことができる行事をおこなうことも魅力だと思います。

プライベートも
充実!

ピアノが趣味です。日々の上達を感じることが出来るので、やりがいがあります。



原価システムの 刷新で大きな第一歩



工事管理部
吉市 恵介

入社日 2012年4月
出身校 松山大学 経済学部
資格 建設業経理士2級

Q.仕事のやりがいを感じる時は?

2017年、原価管理システムを刷新しました。構想から運用開始まで約1年半掛かり、当時は社内でも賛否両論あり、遅々として物事が進まず悩んでいましたが、運用開始に至ったときは何事にも代えがたい達成感がありました。現状、課題は多くありますが、新しい取り組みとしては大きな一歩と感じています。

Q.目指す自分の将来像

専門性を磨く事も重要ですが、職務に捉われず、会社全体をマネジメントできるように目指しています。

Q.福留開発のココがいい

工事を進めるにあたって発注者様や取引先とのコミュニケーションを多く必要とするため、必然的に社員全員が人当たりが良く、工事完成に向けた熱意と併せ、みんなが非常に仲の良い会社です。

プライベートも
充実!

同僚たちと龍馬マラソンを走りました。次はサブ4目指します!

